

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業)や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密植栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稲と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業)や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密度栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稲と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生 部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業)や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密植栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者 部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稻と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業) や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密度栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稻と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業) や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密度栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稲と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業) や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密度栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稲と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生 部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業)や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密度栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者 部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稻と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生 部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業)や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密植栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者 部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稲と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度あおもり農業グローバルチャレンジ (提案型海外研修)
の採択チームについて

県では、グローバル化やデジタル化が進展する中、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人財を育成するため、若手農業者や農業高校生等が行う提案型海外研修に対して支援することとしています。

この度、応募のあった 13 チーム (学生部門 12 チーム、農業者部門 1 チーム) によるプレゼンテーション形式の企画競技会を令和 7 年 7 月 3 日に開催し、審査した結果、下記のとおり 4 チームを採択することとしましたので、お知らせします。

記

1 採択チーム

部門	学校・チーム名	渡航先	研修の概要
学生部門	五所川原農林高等学校 (G.A.P.チーム/ギャップチーム)	インドネシア (2月上旬)	人口増加や経済発展が著しいインドネシアを新たな輸出先と考え、りんごの流通・消費動向の調査を行う。
	柏木農業高等学校 (チーム BLOF/チームブロフ)	アメリカ (1月上中旬)	日本での有機農産物の流通・販売拡大を見据えた、CSA (地域支援型農業)や流通の視察等を行う。
	営農大学校 (Amore Fiore/アモーレ フィオレ)	イタリア (9月下旬)	就農後のりんごの高い収益性と安定生産を目指し、高密植栽培やスマート農業、販売流通等の調査を行う。
農業者部門	TEAM 御三家 ※西北地域の農業者によるチーム	フィリピン ベトナム シンガポール (2月上旬)	水稻と野菜の生産性向上や経営発展に向け、先進技術の研究や日本農産物の流通状況等の調査を行う。

2 企画競技会の開催概要

- (1) 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 00 分～16 時 30 分
- (2) 場 所 青森県観光物産館アスパム 6 階 「八甲田」
- (3) 内 容 応募のあったチームによる企画提案書のプレゼンテーション及び審査
- (4) 審査員 5 名 (農業関係団体、青森県)

3 参考（支援の概要）

県内の若手農業者や農業を学ぶ高校生、学生が自ら企画した海外研修に係る費用を支援（1チーム3～6人程度）する。

採択されたチームは、令和7年9月から令和8年2月末までの間に海外研修を実施する。

部門	支援の割合	支援額の上限（1チーム当たり）
学生部門	10/10 程度	欧米等 : 520 万円程度 アジア地域 : 240 万円程度
農業者部門	1/2 程度	欧米等 : 260 万円程度 アジア地域 : 120 万円程度

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	担い手育成グループ GM 三浦 孝文
電話番号	直通 017-734-9463 内線 5057
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊（内線：4967）